

連携プラグイン for 商奉行クラウド

売上傳票データ連携

ユーザーズマニュアル

はじめに

本資料は導入済みの連携プラグイン for 商奉行クラウドのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

本製品は、kintone アプリに読み込むプラグインとなっております。
プラグインを kintone に読み込み、作成したアプリに追加して、ご利用ください。

プラグインのセットアップについては、kintone の以下のマニュアルをご確認の上、導入ください。

プラグインの追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/plugin.html

セットアップ後、作成したアプリにプラグインを追加してご利用ください。

アプリにプラグインを追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/plugin.html

本製品では、プラグイン設定に奉行クラウドの接続情報を設定することで、奉行クラウドへデータの参照/登録が可能となります。

■ 目次

はじめに	ii
第1章 プラグイン(データ登録)	1
1.1 プラグインの設定	1
1.2 データの登録	5
第2章 プラグイン(データ参照)	8
2.1 プラグインの設定	8
2.2 データの参照	11
第3章 ご利用上の制限事項	12
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限	12
3.2 商奉行クラウドの項目の登録・参照規則	13
第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認	14
4.1 tenantid (法人接続情報)の確認	14
4.2 API トークンの確認	15
第5章 利用期限の通知	17
5.1 利用期限 2 週間前	17
5.2 利用期限切れ	17
第6章 付録	18
6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合	18
6.2 売上傳票データの規則	21
6.3 売上傳票データの規則 (補足)	42

第1章 プラグイン(データ登録)

1.1 プラグインの設定

連携先の商奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリ：
プラグイン

連携プラグイン for 商奉行クラウド(売上伝票データ登録)



詳細

バージョン：2

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

本番環境 体験版環境

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

連携対象kintoneフィールド名

連携対象となる値

連携後の値

項目のマッピング

▼ [ヘッダー情報]

データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
伝票区分：	<input type="text" value="伝票区分(伝票区分)"/>	<input type="text"/>
売上日付：	<input type="text" value="売上日付(売上日付)"/>	<input type="text"/>
請求日付：	<input type="text" value="請求日付(請求日付)"/>	<input type="text"/>
伝票No.：	<input type="text" value="伝票No.(伝票No)"/>	<input type="text"/>

○ データ登録の設定

kintone から商奉行クラウドへデータを登録する方式を設定します。

- 『1件ずつ登録する』

kintone のレコードのデータを1件ずつ商奉行クラウドへ登録したい場合、『1件ずつ登録する』を選択してください。レコード追加画面でレコードを保存した後に、そのレコードのデータを商奉行クラウドへ連携し登録します。

- 『一括で登録する』

kintone のレコードのデータを一括で商奉行クラウドへ登録したい場合、『一括で登録する』を選択してください。レコード一覧画面に、「一括で登録する」ボタンが表示され、ボタン押すと kintone の複数のレコードのデータを一括で商奉行クラウドへ登録できます。

『一括で登録する』を選択した場合は、連携対象となる kintone のレコード判定のために、以下を設定してください。

- ・ 『連携対象の kintone のフィールド名』

連携対象となるレコードを判定するための kintone のフィールド(「文字列(1行)」)を、このアプリの「フォーム」から追加し、「プラグインの設定」で指定してください。

- ・ 『連携対象となる値』

連携対象となるレコードを判定する値を設定してください。

例) 未連携

設定しない場合(空の場合)は、『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値が空のレコードが連携対象となります。

- ・ 『連携後の値』

商奉行クラウドへデータ登録に成功した後の値を設定してください。

例) 連携済

『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を、設定した値で更新します。

(登録したデータを二重に登録しないために設定すると便利です。)

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

連携対象kintoneフィールド名

連携対象となる値

連携後の値

商奉行連携

「一括で登録する」ボタン

スペース: 商奉行連携 アプリ: 売上伝票連携アプリ_登録

一覧1

1 - 3 (3件中)

奉行登録フラグ	伝票No.	売上日付	請求日付	得意先コード	得意先名	
未登録	2	2020/4/1	2020/4/1	6	株式会社千菓デンキ	/
未登録	3	2020/4/1	2020/4/1	6	株式会社千菓デンキ	/
登録済	4	2021/5/20	2021/6/30	1	太平洋販売株式会社	/

○ 項目のマッピング設定

連携先の商奉行クラウドの項目に対応する kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」「日付」です。

【明細情報】【付箋情報】【在庫受払情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

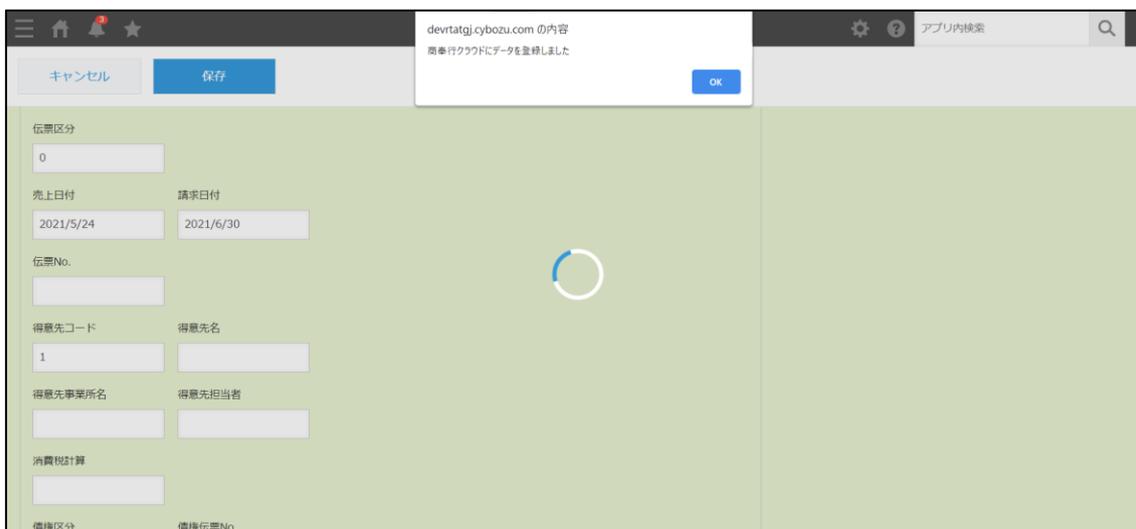
規定値を入力したい場合は、ドロップダウンから『規定値を入力』を選択し、テキストボックスに規定値となる値を入力してください。

項目にデータを連携したくない場合は、ドロップダウンから『入力なし』を選択してください。

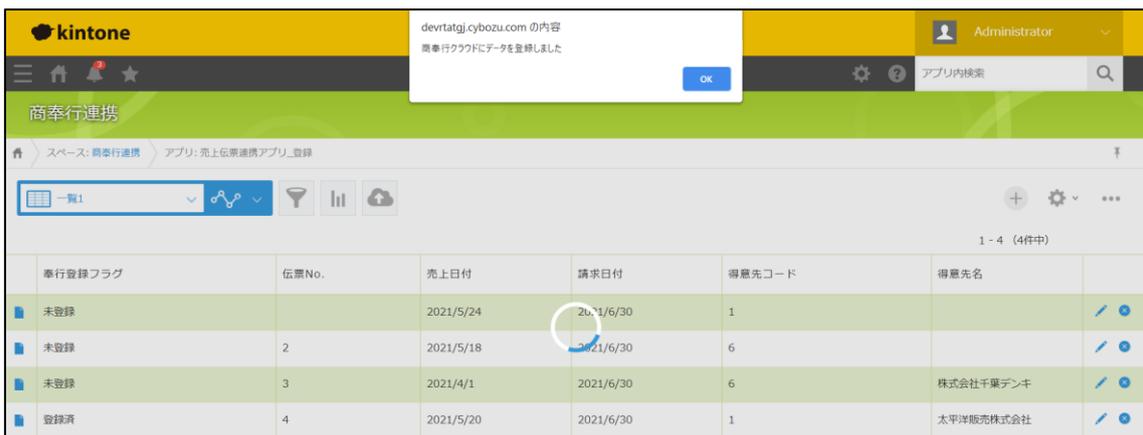
項目のマッピング		
▼ 【ヘッダー情報】		
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
伝票区分 :	伝票区分(伝票区分) ▼	<input type="text"/>
売上日付 :	売上日付(売上日付) ▼	<input type="text"/>
請求日付 :	請求日付(請求日付) ▼	<input type="text"/>

1.2 データの登録

- データ登録の設定で『1件ずつ登録する』を設定した場合
データの登録は画面上部にある保存ボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」
のメッセージが表示されれば、商奉行クラウドとの連携は完了です。



- データ登録の設定で『一括で登録する』を設定した場合
データの登録はレコード一覧画面にある一括で登録するボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」
のメッセージが表示されれば、商奉行クラウドとの連携は完了です。



ダイアログの OK ボタンを押すと連携したレコードの『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を『連携後の値』に設定した値で更新します。更新が完了すると以下のダイアログが表示され、OK ボタンを押すと表示中の画面を更新します。



kintone Administrator

アプリ内検索

商奉行連携

スペース: 商奉行連携 アプリ: 売上伝票連携アプリ_登録

一覧1

1 - 4 (4件中)

奉行登録フラグ	伝票No.	売上日付	請求日付	得意先コード	得意先名	
登録済		2021/5/24	2021/6/30	1		 
登録済	2	2021/5/18	2021/6/30	6		 
登録済	3	2021/4/1	2021/6/30	6	株式会社千葉デンキ	 
登録済	4	2021/5/20	2021/6/30	1	太平洋販売株式会社	 

第2章 プラグイン(データ参照)

2.1 プラグインの設定

連携先の商奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリ:
プラグイン

連携プラグイン for 商奉行クラウド(売上伝票データ参照)



詳細

バージョン: 2

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

本番環境 体験版環境

検索項目の設定

検索対象項目

- 売上日付
- 請求日付.
- 伝票No.
- 得意先コード
- 得意先名
- 部門コード
- 担当者コード
- プロジェクトコード
- 商品コード
- 商品名
- 倉庫コード

項目のマッピング

○ 検索項目の設定

連携先の商奉行クラウドから売上傳票データを参照するとき利用する検索項目を選択してください。検索項目として以下が設定でき、チェックボックスにチェックを入れることで利用することが可能です。

検索項目の設定

検索対象項目

- 売上日付
- 請求日付.
- 伝票No.
- 得意先コード
- 得意先名
- 部門コード
- 担当者コード
- プロジェクトコード
- 商品コード
- 商品名
- 倉庫コード

チェックを入れた検索項目は、レコード一覧画面の検索枠に表示されます。
 (範囲検索は、開始と終了の両方を入力して検索してください。片方のみで検索すると、その項目は無視して検索します。)

一覧1
1 - 40 (40件中)

売上日付: 2021-05-25 ~ 2021-05-25 請求日付: 2021-05-25 ~ 2021-05-25 伝票No. 得意先コード

得意先名

[データ取得](#)

レコード番号	伝票No.	得意先コード	得意先名	得意先事業所名	得意先担当者	請求先コード	送付先名	送付先事業所名	送付先担当者名
40	000335	00000020	鹿兒島文具	宮城店		00000020			
39	000334	00000017	テック高松...	高松出張所		00000017			
38	000333	00000001	太平洋販売...	札幌支店		00000001			
37	000317	00000010	石川販売株...	金沢出張所	岡野 雅弘	00000010			
36	000316	00000001	太平洋販売...	札幌支店	大木 誠	00000001			

○ 項目のマッピング設定

連携先の商奉行クラウドから参照したデータを入れる kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」です。

【明細情報】【付箋情報】【在庫受払情報】の項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

「ラジオボタン」「ドロップダウン」を利用する場合は、予め取得できる値を設定してください。

参照しない項目には、『連携しない』を選択してください。

項目のマッピング	
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)
▼ 【ヘッダー情報】	
伝票区分：	伝票区分(伝票区分) ▼
伝票区分名：	伝票区分名(伝票区分名) ▼
売上日付：	売上日付(売上日付) ▼
請求日付：	請求日付(請求日付) ▼

2.2 データの参照

データの参照は、レコード一覧画面で行います。

検索枠の項目に検索条件を入力し、データ取得ボタンを押すと連携先の商奉行クラウドから、データを参照することができます。(参照は、kintone アプリの参照時点の全てのレコードを削除し、奉行クラウドから取得したデータでレコードを登録し直す動作となります。)データの参照が完了すると以下の様なダイアログが表示されます。OK ボタンを押すとレコード一覧画面を更新して、参照したデータを表示できます。

The screenshot shows the Kintone application interface. At the top, there is a yellow header with the Kintone logo and a notification box that says "devtatgicybozu.com の内容 データを取得しました。画面を更新します。" with an "OK" button. The user is logged in as "Administrator". The main content area is titled "商奉行連携" and shows a search filter for "売上伝票連携" with a sub-filter for "売上伝票連携アプリ参照". Below the search filters, there is a "データ取得" button. The main area displays a table of records with the following data:

レコード番号	伝票No.	得意先コード	得意先名	得意先事業所名	得意先担当者	請求先コード	送付先名	送付先事業所名	送付先担当者名
40	000335	00000020	鹿児島文具	宮城店		00000020			
39	000334	00000017	テック高松...	高松出張所		00000017			

第3章 ご利用上の制限事項

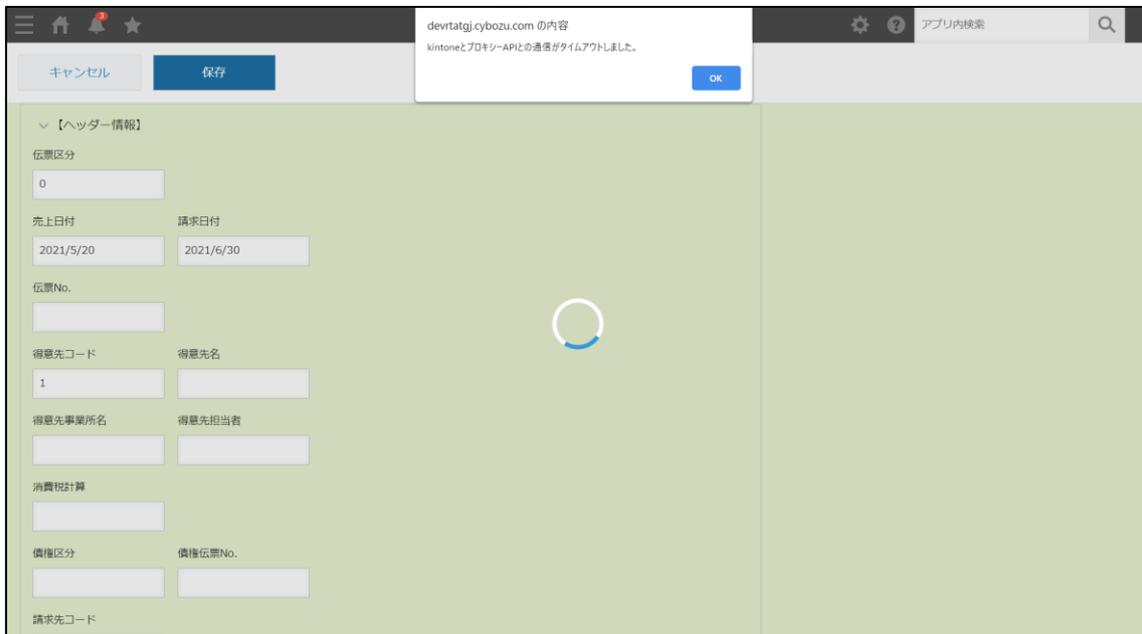
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限

商奉行クラウドとのデータ連携では、kintone proxy を利用しています。

kintone proxy は、一定の時間レスポンスが無い場合、タイムアウトとなってしまう場合がございます。

マスター参照時に発生した場合、テキストボックスに入力する検索文字をさらに絞り込みが可能な文字に変更し、再度、検索をお試しください。

データ登録時に発生した場合、商奉行クラウドへログインし、該当するデータが登録されているか確認をお願いします。



3.2 商奉行クラウドの項目の登録・参照規則

データ登録・参照時は、商奉行クラウドの項目毎のデータ規則に従って行ってください。各項目の詳細については「6.2 売上傳票データの規則」をご参照ください。

第4章 商奉行クラウド API 利用情報の確認

4.1 tenantid (法人接続情報)の確認

商奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある運用環境情報の法人管理を選択してください。法人情報にある法人接続情報をご利用ください。

- ① 商奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「運用環境情報」を選択、「法人管理」を選択し、法人情報画面で法人接続情報を確認できます。



4.2 API トークンの確認

商奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある外部サービス連携の連携アプリケーションを選択してください。連携アプリケーション一覧の画面からアクセストークンを発行してご利用ください。

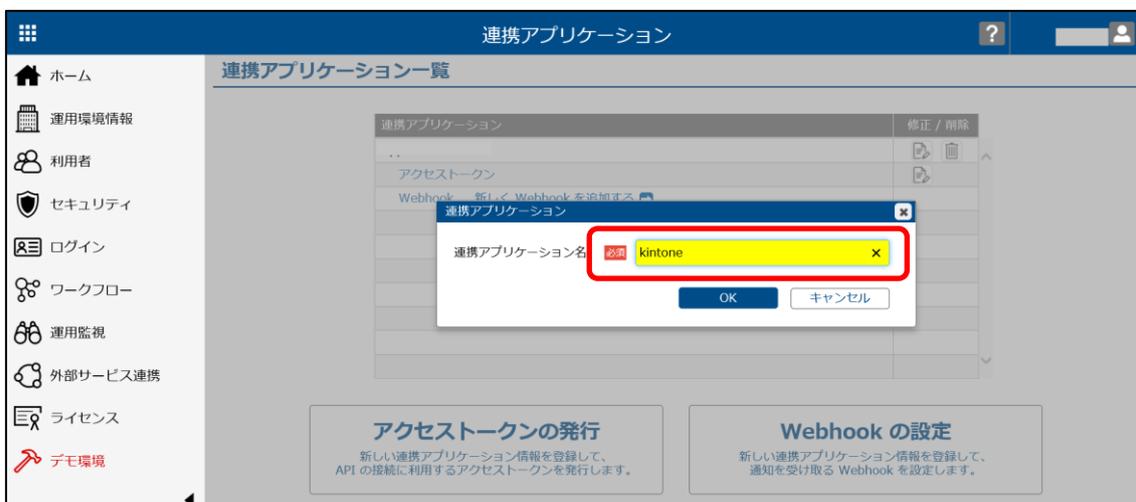
- ① 商奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「外部サービス連携」を選択、「連携アプリケーション」を選択し、連携アプリケーション一覧画面で「アクセストークンの発行」を押します。



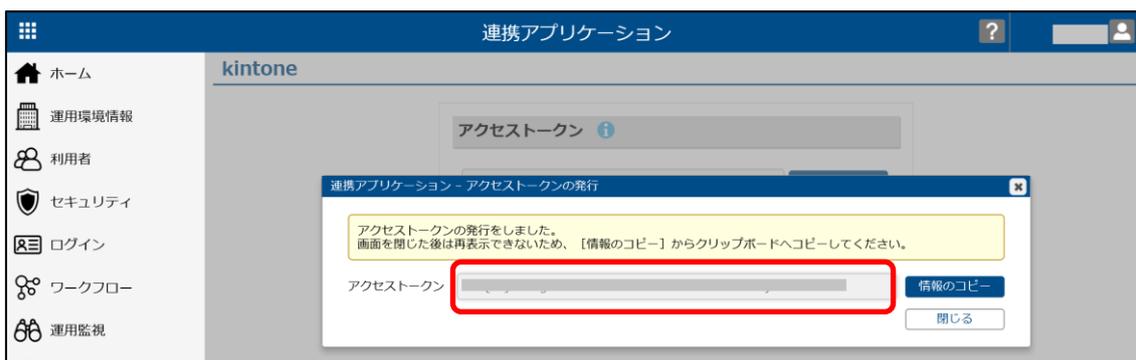
- ③ 連携アプリケーション名に「kintone」と入力し、「OK」を押します。
(連携アプリケーション名は、「kintone」以外でも問題ありません。)



- ④ アクセストークンの「発行」を押します。



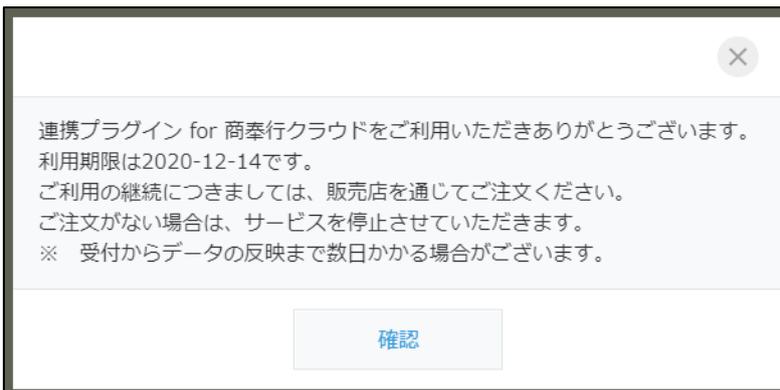
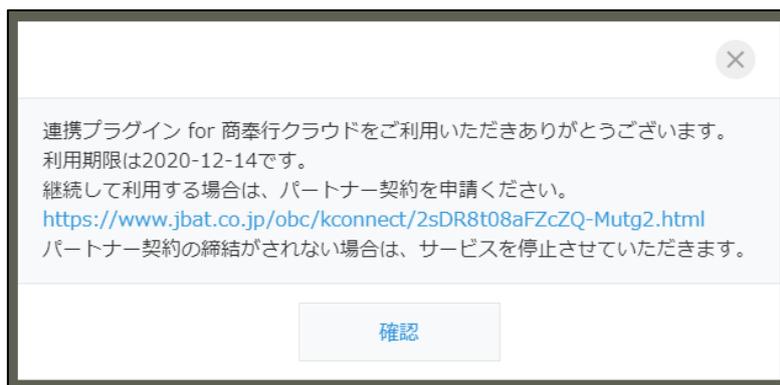
- ⑤ 発行されたアクセストークンを確認できます。



第 5 章 利用期限の通知

5.1 利用期限 2 週間前

利用期限 2 週間前になるとダイアログが表示されるようになります。利用の継続をお考えの場合は、ダイアログの案内に従い継続利用の手続きを行ってください。



5.2 利用期限切れ

利用期限切れになるとダイアログが表示されるようになり、連携プラグイン for 商奉行クラウドの機能をご利用できなくなります。再度のご利用をお考えの場合は、弊社窓口で利用申請を行ってください。



第6章 付録

6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合

kintone のアクション機能を利用することで、参照プラグインで参照したデータを再利用して、登録プラグインを利用しているアプリから、商奉行クラウドにデータ登録を行うことができます。

- ① 参照プラグインを利用しているアプリのアプリ設定を開き、設定タブのその他の設定にあるアクションを選択します。



- ③ 作成ボタンを選択します。



- ③ アクションの設定画面で、アクション名を入力し、コピー先として、登録プラグインを利用しているアプリを選択します。
- ④ コピー先のアプリを選択後、フィールドの関連付けで、参照アプリの再利用したいデータがあるフィールドと登録アプリのフィールドの関連付けを行います。
- ⑥ 関連付けが完了したら保存ボタンを押して、アプリを更新してください。

アクションの設定

* アクション名:

コピー元:  売上伝票連携アプリ_参照

* コピー先:

フィールドの関連付け:

[すべてクリア](#)

得意先コード	➡	得意先コード	+	×
得意先名	➡	得意先名	+	×
部門コード	➡	部門コード	+	×
請求先コード	➡	請求先コード	+	×
直送先コード	➡	直送先コード	+	×

アクションの利用者:

 Everyone ×

保存

キャンセル

○アクションを利用する

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

必要な情報を修正後、登録ボタンを押すと商奉行クラウドにデータを登録することができます。

スペース: 商奉行連携 > アプリ: 売上伝票連携アプリ_参照 > 一覧: 一覧1 > レコード: 0

再利用

▼ 【ヘッダー情報】

伝票区分	伝票区分名	
0	債権計上	
売上日付	請求日付	
2021/05/24	2021/06/30	
伝票No.		
000006		
得意先コード	得意先名	
00000001	太平洋販売株式会社	
得意先事業所名	得意先担当者	
札幌支店	大木 誠	
消費税計算	消費税計算名	
2	請求書単位	
債権区分	債権区分名	債権伝票No.
		000006
請求先コード	請求先名	請求先事業所名
00000001	太平洋販売株式会社	札幌支店
債権部門コード	債権部門名	

キャンセル **保存**

得意先コード	得意先名	
00000001	太平洋販売株式会社	
得意先事業所名	得意先担当者	
消費税計算		
債権区分	債権伝票No.	
請求先コード		
00000001		
債権部門コード	債権プロジェクトコード	債権工程/工種コード
仕訳作成対象		



6.2 売上傳票データの規則

項目名	データ	桁数	必要	説明
【ヘッダー情報】				
伝票区分	数字	1		0：債権計上 1：即時入金 空白データを受け入れた場合は、「0：債権計上」が設定されます。
伝票区分名	文字			参照のみ。
売上日付	文字	11	○	形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「日付の形式」参照
請求日付	文字	11		
伝票 No.	英数カナ	6-15		この項目は、売上傳票 No. の付番方法（[販売管理規程]メニューの[販売管理]ページで設定）が「手入力する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
得意先コード	英数カナ	1-20	○	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。
得意先名	文字	60		この項目は、得意先のスポット区分が「スポット得意先」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、得意先の得意先名（[得意先]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
得意先事業所名	文字	40		この項目は、得意先のスポット区分が「スポット得意先」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、得意先の事業所名（[得意先]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
得意先担当者	文字	30		空白データを受け入れた場合は、得意先の担当者名（[得意先]メニューの[担当]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税計算	数字	1		0：明細単位 1：伝票単位 2：請求書単位 空白データを受け入れた場合は、得意先の消費税計算（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税計算名	文字			参照のみ
債権区分	数字	1		0：営業外債権 1：営業債権 空白データを受け入れた場合は、得意先の伝票債権区分（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。 この項目は、『債権奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れでき

				ます。
債権区分名	文字			参照のみ
債権伝票 No.	英数カナ	6-15		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「伝票区分」が「0：債権計上」 ・債権伝票の「売上傳票から作成時は売上傳票の伝票 No. と同じにする」（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）にチェックが付いていない ・債権伝票 No. の付番方法（[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで設定）が「手入力する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。
請求先コード	英字カナ	1-20		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の請求先（[得意先]メニューの[請求]ページで設定）が設定されます。
請求先名	文字			参照のみ。
請求先事業所名	文字	40		参照のみ。
債権部門コード	英字カナ	1-15		この項目は、「伝票区分」が「0：債権計上」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の「債権主部門」（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。
債権部門名	文字			参照のみ。
債権プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・伝票区分が「債権計上」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の「債権主プロジェクト」（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。
債権プロジェクト名	文字			参照のみ
債権工程/工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程/工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・売上傳票の伝票区分が「債権計上」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運

				用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の「債権主工程/工種」 ([得意先]メニューの[販売]ページで設定)が設定されます。
債権工程/工種名	文字			参照のみ
仕訳作成対象	数字	1		0:対象外 1:対象 空白データを受け入れた場合は、「1:対象」が設定されます。
請求単位	数字	1		0:債権伝票 1:請求締め 空白データを受け入れた場合は、得意先の請求単位([得意先]メ ニューの[請求]ページで設定)が設定されます。
回収予定確定単位	数字	1		0:債権伝票 1:請求締め 空白データを受け入れた場合は、得意先の回収予定確定単位([得 意先]メニューの[請求]ページで設定)が設定されます。
請求 No.	英数カナ	6-15		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れでき ます。 ・請求 No. の付番方法([販売管理規程]メニューの[債権管理]ペ ージで設定)が「開始請求 No. を手入力する」 ・「請求単位」が「0:債権伝票」の場合 桁数は、設定(メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運 用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。
部門コード	英数カナ	1-15		桁数は、設定(メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運 用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①得意先の売上主部門([得意先]メニューの[販売]ページで設定) ②「担当者コード」で設定された担当者の部門([担当者]メ ニューの[基本]ページで設定) ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元 の値が設定されます。
部門名	文字			参照のみ。
担当者コード	英数カナ	4-10		桁数は、設定(メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運 用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の売上主担当者([得意先] メニューの[販売]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元 の値が設定されます。
担当者名	文字			参照のみ。
プロジェクトコード	英数カナ	4-20		この項目は、プロジェクト(メインメニュー右上にある[設定]アイ コンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定)が「使用す る」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定(メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運 用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の売上主プロジェクトコ ード([得意先]メニューの[販売]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元

				の値が設定されます。
プロジェクト名	文字			文字
工程／工種コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。 ・『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、得意先の売上主工程／工種（[得意先]メニューの[販売]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
工程／工種名	文字			参照のみ。
直送先コード	英数カナ	4-20		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
直送先名	文字			参照のみ。
送付先名	文字	60		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の直送先名（[直送先]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先事業所名	文字	40		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の事業所名（[直送先]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先部署	文字	40		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の部署（[直送先]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先担当者名	文字	30		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の担当者名（[直送先]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先敬称	数字	1		0：敬称なし 1：敬称1 2：敬称2 3：敬称3 4：敬称4 5：敬称5 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運

				用設定]メニューの[基本]ページ)によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の敬称の設定([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先敬称名	文字			参照のみ。
送付先郵便番号	文字	10		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の郵便番号([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先都道府県	文字	12		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の都道府県([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先市区町村	文字	24		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の市区町村([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先番地	文字	30		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の番地([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先ビル等	文字	50		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の送付先ビル等([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先電話番号	文字	20		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の電話番号([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
送付先 FAX 番号	文字	20		空白データを受け入れた場合は、「直送先コード」で設定された直送先の FAX 番号([直送先]メニューの[基本]ページで設定)が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
摘要	文字	200		※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元

				の値が設定されます。
摘要 2	文字	200		※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
摘要 3	文字	200		※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
【明細情報】				
明細行番号	数字	3		参照のみ。
明細種別	数字	1	△	0：明細 1：グループ 空白データを受け入れた場合は、「0：明細」が設定されます。 【必須になる条件】 「売上区分」が「8：見出し」の明細を受け入れる場合は、その見出しによってグループ化する明細に「1：グループ」を設定する必要があります。 詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【見出し付きの明細の受け入れ】参照
明細種別名	文字			参照のみ。
売上区分	数字	1	○	0：売上 1：返品 2：値引 3：消費税 4：摘要 8：見出し 9：その他 10：付箋 19：外税調整 21：内税調整 「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」しかない伝票は受け入れできません。
売上区分名	文字			参照のみ。
出荷区分	数字	1	△	0：未売上 1：全数売上 2：一部売上 詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
出荷区分名	文字			参照のみ。
リレー元伝票種類	数字	1	△	0：受注伝票 1：出荷伝票 【必須になる条件】 リレー入力の場合 詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元伝票種類名	文字			参照のみ。
リレー元 No.	英数カナ	6-15	△	【必須になる条件】 リレー入力の場合 詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元日付	文字	11		詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照
リレー元得意先コード	英数カナ	1-20		
リレー元部門コード	英数カナ	1-15		
リレー元 O B C i D	英数カナ	50		
リレー元明細行番号	数字	3		
リレー元出荷内訳行番号	数字	3		

リレー元得意先名	文字			参照のみ。
リレー元部門名	文字			参照のみ。
商品コード種類	数字	1		1:コード 2:コード2 3:コード3 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・商品コード2、または商品コード3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「売上区分」が「0:売上」「1:返品」「2:値引」「8:見出し」「9:その他」 空白データを受け入れた場合は、使用する商品コード（[販売管理規程]メニューの[販売管理]ページで設定）が設定されます。
商品コード種類名	文字			参照のみ。
商品コード	英数カナ	1-40	△	「商品コード種類」の設定によって受け入れられるコードが異なります。 この項目は、「売上区分」が「0:売上」「1:返品」「2:値引」「8:見出し」「9:その他」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品]ページで設定）によって異なります。 【必須になる条件】 「売上区分」が「0:売上」または「1:返品」の場合 ※リレー入力の場合は、リレー元明細と同じ商品コードを指定する必要があります。
商品名	文字	60		この項目は、「売上区分」が「10:付箋」「19:外税調整」「21:内税調整」以外の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
商品名2	文字	40		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・商品名2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「10:付箋」「19:外税調整」「21:内税調整」以外 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名2（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
商品名3	文字	40		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・商品名3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」

				<p>・「売上区分」が「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」以外 空白データを受け入れた場合は、商品の商品名3（[商品]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
バリエーションコード種類	数字	1		<p>1：コード 2：コード2 3：コード3 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『Sシステム』をお使いの場合 ・バリエーション（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・バリエーションコード2かバリエーションコード3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、使用するバリエーションコード（[販売管理規程]メニュー[販売管理]ページで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
バリエーションコード種類名	文字			参照のみ。
バリエーションコード	英数カナ	1-40		<p>バリエーションコード種類の設定によって受け入れられるバリエーションコードが異なります。 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『Sシステム』をお使いの場合 ・バリエーション（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
バリエーション名	文字			参照のみ。
発行コード	英数カナ	40		参照のみ。
荷姿コード	英数カナ	1-10		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『Sシステム』をお使いの場合 ・荷姿（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」

				桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、主販売荷姿区分コード（[荷姿]メニューで設定）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
荷姿名	文字			参照のみ。
販売取引コード	英数カナ	4-10	△	この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債権管理]ページ）によって異なります。 【必須になる条件】 「売上区分」が「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」以外の場合 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
販売取引名	文字			参照のみ。
注文 No.	文字	20		この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
倉庫コード	英数カナ	4-10		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『蔵奉行クラウド』をご利用の場合 ・倉庫（『蔵奉行クラウド』のメインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」 ・商品の在庫管理（[商品]メニューの[在庫]ページ）が「する」 桁数は、設定（蔵奉行のメインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、商品の主倉庫（[商品]メニューの[在庫]ページ）が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
倉庫名	文字			参照のみ。
入数	数字	12		整数7桁 小数4桁 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、商品の入数（[商品]メニューの

			<p>[基本]ページで設定) が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
入数 2	数字	12	<p>整数 7 桁 小数 4 桁</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張項目 2 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定) が「使用する」 ・ 「売上区分」が「0: 売上」「1: 返品」「8: 見出し」「9: その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、商品の入数 2 ([商品]メニューの[基本]ページで設定) が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
箱数	数字	12	<p>整数 7 桁 小数 4 桁 マイナスも可</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0: 売上」「1: 返品」「8: 見出し」「9: その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「0: 未売上」以外の場合に設定できます。</p>
計算式項目 1	数字	18	<p>整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可</p> <p>形式は、表紙の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算式項目 1 使用 ([価格]メニューで設定) が「する」 ・ 「売上区分」が「0: 売上」「1: 返品」「2: 値引」「9: その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計算式項目 1 の価格計算式 ([価格]メニューの[価格計算式]画面で設定) の計算結果 ② 商品の計算式項目 1 ([価格]メニューで設定) <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
計算式項目 2	数字	18	<p>整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可</p> <p>形式は、表紙の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算式項目 2 使用 ([価格]メニューで設定) が「する」 ・ 「売上区分」が「0: 売上」「1: 返品」「2: 値引」「9: その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計算式項目 2 の価格計算式 ([価格]メニューの[価格計算式]画面で設定) の計算結果 ② 商品の計算式項目 2 ([価格]メニューで設定) <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元</p>

				の値が設定されます。
計算式項目 3	数字	18		<p>整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、表紙の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式項目 3 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①計算式項目 3 の価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果 ②商品の計算式項目 3（[価格]メニューで設定）</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
計算式項目 4	数字	18		<p>整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、表紙の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式項目 4 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①計算式項目 4 の価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果 ②商品の計算式項目 4（[価格]メニューで設定）</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
計算式項目 5	数字	18		<p>整数 13 桁 小数 4 桁 マイナスも可 形式は、表紙の「数量・金額の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式項目 5 使用（[価格]メニューで設定）が「する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①計算式項目 5 の価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果 ②商品の計算式項目 5（[価格]メニューで設定）</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
数量	数字	14		<p>整数 9 桁 小数 4 桁 マイナスも可 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れできます。 小数部分の桁数は、「数量小数桁」の設定によって異なります 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算</p>

				<p>結果</p> <p>②「入数」、「入数2」、「箱数」をもとに設定</p> <p>※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「0：未売上」以外の場合に設定できません。</p> <p>詳細は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】参照</p>
単位	文字	6		<p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、商品の単位（[商品]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
仕切り元値	数字	14		<p>整数9桁 小数4桁</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
仕切り率	数字	6		<p>整数3桁 小数2桁</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、得意先の仕切り率（[仕切り率]メニューで設定）が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
単価	数字	14		<p>整数9桁 小数4桁</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①「仕切り元値」「仕切り率」がいずれも空白でない場合は、それをもとに設定</p> <p>②価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果</p> <p>③単価（[単価]メニューで登録）、「仕切り率」をもとに設定</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
単位原価	数字	14		<p>整数9桁 小数4桁</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」の</p>

			場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果 ②単位原価（[単価]メニューで設定）が設定 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税率種別	数字	1	0：標準 1：軽減 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の消費税率種別（[商品]メニューの[消費税]ページで設定） ②販売取引の消費税率種別（[販売取引]メニューの[消費税]ページで設定） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税率種別名	文字		参照のみ。
消費税率	数字	2	この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、「売上日付」と「消費税率種別」によって設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
申告書計算区分コード	数字	4	この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「3：消費税」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、販売取引の申告書計算区分（[販売取引]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。 ※得意先の「得意先優先に設定する」（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、得意先の「取引発生区分」を加味して設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税自動計算	数字	1	0：計算しない 1：税抜金額から計算する 2：税込金額から計算する この項目は、「売上区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外の場合に受け入れできます。 「売上区分」が「3：消費税」「19：外税調整」「21：内税調整」の場合は「0：計算しない」のみ受け入れできます。 課税の対象外の場合は受け入れできません。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の消費税自動計算（[商品]メニューの[消費税]ページで設

			<p>定)</p> <p>②販売取引の消費税自動計算（[販売取引]メニューの[消費税]ページで設定）</p> <p>※得意先の「得意先優先に設定する」（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、得意先の「税抜税込」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
消費税端数処理	数字	1	<p>0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。</p> <p>課税の対象外または、「消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、販売取引の消費税自動計算（[販売取引]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。</p> <p>※得意先の「得意先優先に設定する」（[得意先]メニューの[消費税]ページで設定）にチェックが付いている場合は、得意先の「端数処理」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
事業区分コード	数字	4	<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区分（[販売管理規程]メニューの[消費税]ページで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」「19：外税調整」「21：内税調整」以外 ・課税の対象 <p>空白データを受け入れた場合は、販売取引の事業区分（[販売取引]メニューの[消費税]ページで設定）が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
金額	数字	13	<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「3：消費税」「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果</p> <p>②「数量」、「単価」をもとに設定</p> <p>※商品の「数量入力」（[商品]メニューの[基本]ページ）が「しない」の場合は、単価（[単価]メニューで設定）、仕切り率（[仕切り率]メニューで設定）をもとに設定されます。</p>

			※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
消費税額	数字	13	<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「4：摘要」「8：見出し」「10：付箋」以外の場合に受け入れできます。</p> <p>課税の対象外または、「消費税自動計算」が「0：計算しない」の場合は受け入れできません。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「金額」、「消費税率」をもとに設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
原価	数字	13	<p>マイナスも可</p> <p>形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」の場合に受け入れできます。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①価格計算式（[価格]メニューの[価格計算式]画面で設定）の計算結果</p> <p>②「数量」、「単位原価」をもとに設定</p> <p>※商品の「数量入力」（[商品]メニューの[基本]ページ）が「しない」の場合は、単位原価（[単価]メニューで設定）が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
明細部門コード	英数カナ	1-15	<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門・担当者の伝票明細入力（[販売管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「売上区分」が「4：摘要」「10：付箋」以外 <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。</p> <p>①部門コードが設定されます。</p> <p>②明細担当者コードで設定された担当者の部門（[担当者]メニューの[基本]ページで設定）が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
明細部門名	文字		参照のみ。
明細担当者コード	英数カナ	4-10	<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門・担当者の伝票明細入力（[販売管理規程]メニュー[基本]ペ

				<p>ージで設定)が「する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「売上区分」が「4: 摘要」「10: 付箋」以外 <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「担当者コード」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
明細担当者名	文字			参照のみ。
明細プロジェクトコード	英数カナ	4-20		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・部門・担当者・プロジェクトの伝票明細入力（[販売管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「売上区分」が「4: 摘要」「10: 付箋」以外 <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「プロジェクトコード」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
明細プロジェクト名	文字			参照のみ。
明細工程／工種コード	英数カナ	1-20		<p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』をご利用の場合 ・工程／工種（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページで設定）が「使用する」 ・部門・担当者・プロジェクト・工程／工種の伝票明細入力（[販売管理規程]メニュー[基本]ページで設定）が「する」 ・「売上区分」が「4: 摘要」「10: 付箋」以外 <p>桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）によって異なります。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「工程／工種コード」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
明細工程／工種名				参照のみ。
備考	文字	40		<p>この項目は、「売上区分」が「10: 付箋」の場合は受け入れできません。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
値入れ元値	数字	14		整数9桁 小数4桁

			形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。
値入れ率	数字	6	整数3桁 小数2桁 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。
売単価	数字	14	整数9桁 小数4桁 形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①「値入れ元値」「値入れ率」がいずれも空白でない場合は、それをもとに設定 ②価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ④ [統一伝票規格]メニューをもとに設定 ④[統一伝票価格表]メニューをもとに設定
売価金額	数字	13	マイナスも可 形式は、「6.3 売上傳票データの規則（補足）」の「数量・金額の形式」参照 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ② 価格計算式（[価格]メニューの[基本]ページで登録）の計算結果 ②「数量」、「売単価」をもとに設定
売上計上基準	数字	1	0：出荷基準 1：検収基準 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『蔵奉行クラウド』をご利用の場合 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」 ・商品の在庫管理（[商品]メニューの[在庫]ページ）が「する」 空白データを受け入れた場合は、以下の優先順位で設定されます。 ①商品の売上計上基準（[商品]メニューの[販売]ページ） ②得意先の売上計上基準（[得意先]メニューの[販売]ページ） ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入数小数桁	数字	1	0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」

				<ul style="list-style-type: none"> ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」空白データを受け入れた場合は、「入数」の小数桁と商品の入数小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
入数2小数桁	数字	1		<p>0～4</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡張項目2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」空白データを受け入れた場合は、「入数2」の小数桁と商品の入数2小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
箱数少数桁	数字	1		<p>0～4</p> <p>この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れられます。</p> <p>空白データを受け入れた場合は、「箱数」の小数桁と商品の箱数小数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。</p>
計算式項目1少数桁	数字	1		<p>0～4</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式項目1（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」空白データを受け入れた場合は、「計算式項目1」の小数桁と商品の計算式項目1小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
計算式項目2少数桁	数字	1		<p>0～4</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式項目2（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」空白データを受け入れた場合は、「計算式項目2」の小数桁と商品の計算式項目2小数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。

				※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
計算式項目3少数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。 ・計算式項目3（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目3」の少数桁と商品の計算式項目3少数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
計算式項目4少数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。 ・計算式項目4（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目4」の少数桁と商品の計算式項目4少数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
計算式項目5少数桁	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。 ・計算式項目5（[価格]メニューで設定）が「使用する」 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」 空白データを受け入れた場合は、「計算式項目5」の少数桁と商品の計算式項目5少数桁（[価格]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
数量少数桁	数字	1		0～4 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「8：見出し」「9：その他」の場合に受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、「数量」の少数桁と商品の数量少数桁（[商品]メニューの[基本]ページで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合は、「出荷区分」が「2：一部売上」の場合に設定できます。
単価少数桁	数字	1		0～4 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れられます。

				空白データを受け入れた場合は、「単価」の小数桁と商品の単価小数桁（[単価]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
単位原価少数桁	数字	1		0～4 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、「単価原価」の小数桁と商品の単価小数桁（[単価]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
売単価少数桁	数字	1		0～4 この項目は、「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「2：値引」「9：その他」の場合に受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、「売単価」の小数桁と商品の売単価小数桁（[統一伝票価格表]メニューで設定）の大きい方が設定されます。 ※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。
バラ数量	数字	14		参照のみ。
バラ単位	数字	6		参照のみ。
粗利益率	数字	6		参照のみ。
粗利益	数字	13		参照のみ。
【付箋情報】				
付箋色	数字	1		0：赤 1：青 2：黄 3：橙 4：緑 5：紫 「付箋メモ」を設定し、空白データを受け入れた場合は、「0：赤」が設定されます。
付箋色名	文字			参照のみ。
付箋メモ	文字	400		
【在庫受払情報】				
出荷内訳行番号	数字	2		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」 ・「商品」の「在庫管理」（商品メニューの[在庫]ページ）が「する」 ・受注伝票からのリレー入力の場合
棚番 No	英数カナ	1-10		桁数は、設定（『蔵奉行クラウド』のメインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・『蔵奉行クラウド』の『Sシステム』をご利用の場合 ・棚番（『蔵奉行クラウド』のメインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページで設定）が「使

			<p>用する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「倉庫」に「その他」以外の倉庫を設定している ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」 ・「商品」の「在庫管理」([商品]メニューの[在庫]ページ)が「する」 <p>空白データを受け入れた場合は、「倉庫」に紐づく「その他」の「棚番」が設定されます。</p> <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
出荷内訳数量	数字	14	<p>整数9桁 小数4桁 マイナスも可</p> <p>この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「売上区分」が「0：売上」「1：返品」「9：その他」 ・「商品」の「在庫管理」(商品メニューの[在庫]ページ)が「する」 ・受注伝票からのリレー入力の場合 <p>小数部分の桁数は、「数量小数桁」の設定によって異なります。</p> <p>以下の場合、未受入になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明細情報の「数量」と符号が異なる「出荷内訳数量」を指定した場合 ・明細情報の「数量」と「出荷内訳数量」の合計が不一致の場合 <p>空白データを受け入れた場合は、以下のように設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「出荷内訳行番号」が「1」の場合 ⇒ 「明細情報」の「数量」が設定されます。 ・「出荷内訳行番号」が「2」以上の場合 ⇒ 「0」が設定されます。 <p>※リレー入力の場合で、空白データを受け入れた場合は、リレー元の値が設定されます。</p>
出荷内訳バラ数量	数字	14	参照のみ。

6.3 売上傳票データの規則（補足）

日付の形式			
和暦の形式でも西暦の形式でも受け入れられます。			
和暦の場合		西暦の場合	
令和01年05月01日	平成31年04月01日	2019年04月01日	
R01/05/01	H31/04/01	2019/04/01	
R01.05.01	H31.04.01	2019.04.01	
R01-05-01	H31-04-01	2019-04-01	
※月日が1桁の場合は、1桁のままでも、「スペース」を付けて2桁にしても受け入れられます。 【例】「R01-05-01」は、「R1-5-1」または「R 1- 5- 1」でも受け入れ可能			
数量・金額の形式			
○：受入可能		×：受入不可	
	例		例
3桁区切りなし	123456	3桁区切りあり	123,456
ダブルクォーテーション	"123,456"		
【見出し付きの明細の受け入れ】			
見出し付きの明細を受け入れる場合は、「売上区分」と「明細種別」を以下のように設定します。			
【例】			
パソコン一式（見出しとなる明細）			
└デスクトップパソコン（グループ化する明細）			
└液晶モニター（グループ化する明細）			
└キーボード（グループ化する明細）			
└マウス（グループ化する明細）			
4行の明細を受け入れます。			
1行目（「パソコン一式」の明細）「売上区分」⇒「8：見出し」、「明細種別」⇒「0：明細」			
2～4行目（「デスクトップパソコン」～「マウス」の明細）「売上区分」⇒「8：見出し」以外、「明細種別」⇒「1：グループ」			
【明細按分がある明細の受け入れ】			
明細按分がある明細を受け入れる場合は、「明細番号」と「明細按分行番号」を以下のように設定します。			
【例】			
明細 10,000			
└明細按分① 部門①5,000			
└明細按分② 部門②5,000			
2行の明細を受け入れます。			
1行目「明細番号」：1、「明細按分行番号」：1（明細按分①）			

2行目「明細番号」: 1、「明細按分行番号」: 2 (明細按分②)

【受注伝票または出荷伝票をリレーして受け入れる場合】

●リレー元の指定

以下の項目を設定してリレーする明細を指定します。

「リレー元伝票種類」 必須 リレーする伝票の種類を指定します。『蔵奉行クラウド』をご利用でない場合も必須です。

「リレー元 No.」 必須 伝票 No. を指定します。

「リレー元日付」

「リレー元得意先コード」

「リレー元部門コード」

「リレー元 O B C i D」

「リレー元明細行番号」

「リレー元出荷内訳行番号」

・「リレー元伝票種類」と「リレー元 No.」が設定されていない場合は通常の伝票として受け入れられます。

・該当する伝票が複数あり、リレー元を特定できない場合は未受入になります。

「リレー元 No.」だけでは重複する可能性がある場合は、「リレー元日付」「リレー元得意先コード」「リレー元部門コード」「リレー元 O B C i D」を設定してください。

・「リレー元明細行番号」「リレー元出荷内訳行番号」が空白の場合は、該当の伝票の中で上から順にリレー可能な明細が自動的に特定されます。

●リレーする数量の指定

「出荷区分」を設定して指定します。

「出荷区分」を設定せずに、「数量」から「出荷区分」を自動判定して受け入れることもできます。

「出荷区分」と「数量」で矛盾した値が設定されている場合は、未受入になります。

ただし、「出荷区分」が「2 : 一部売上」で「数量」が全数の場合は、「1 : 全数売上」として受け入れられません。

連携プラグイン for 商奉行クラウド 売上傳票データ連携 ユーザーズマニュアル

2022 年 08 月 04 日 第 5 版発行